| 学習指導要領 | 都立野津田高校　学力スタンダード |
| --- | --- |
| 聞くこと読むこと話すこと書くこと | ア　事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。イ　説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。ウ　聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。エ　聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。 | ・聞いたことに対して、繰り返しや説明を求めるなどして、相手の話に関心をもって聞き続けることができる。・聞き取れない単語や未知の語句があっても、内容を推測し、あきらめずに聞き続けることができる。・ゆっくりと話された英語の内容を聞き、概要や要点を捉えることができる。・場面や状況、相手の表情などを踏まえて質問や指示などに適切に応じることができる。・単語の発音の特徴や、基本的な文章のリズムやイントネーション（文全体に及ぶ声の高さの変動）を捉えて聞くことができる。・教科書の文章を読んで、文中に未知の語句があっても、前後関係や文脈を考えて、推測しながら読み続けることができる。・教科書などの1文を、その意味を理解し、英語の音声的な特徴などに注意しながら暗唱することがきる。・教科書の文章について、文と文のつながりや段落の大まかな流れを考えて読み進めることができる。・身近な情報（例えば交通機関の時刻表やレストランのメニューなど）が示されている図表を読み取ることができる。・教科書で扱った身近な話題や自分の興味、関心があることについて、既習の語句や表現を活用して短く伝えることができる。・教科書の文章などの単語の発音及び文章のリズムやイントネーションに注意して、適切な音量で、聞き手に伝わるように音読することができる。・教科書などの50 語程度の文章を、その意味を理解した上で、英語の音声的な特徴などに注意しながら暗唱することがきる。・うまく言えないことがあっても、簡単な表現やジェスチャーなどを用いて、情報や考えを相手に伝えることができる。・板書の書写など、つづりを間違えないで書くことができる。・既習の語句や表現、文法事項を活用して、学んだことや経験したことに基づき、幅広い話題について2,3文程度の文章を書くことができる。・文章を書く前に、自分の考えを整理して、箇条書きで書くことができる。・自分で書いた文章を読み直し、読み手の立場に立って分かりやすい文章を書くことができる。・必要に応じて教科書、ワークシート、英和辞書や和英辞書などを活用して書くことができる。・ペアやグループでそれぞれが書いた文章を読み合い、感想をもつことができる。 |